先人が残した思い

自然災害伝承碑

 \square

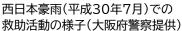
国土地理院では、過去の自然災害の教訓を地域の方々に適切にお伝えするとともに、教訓を踏まえた的確な防災行動による被害の軽減を目指し、ウェブ地図や地形図等への掲載を進めています。

ご担当される地域に該当する伝承碑がありましたら、ぜひお知らせください。

自然災害伝承碑とは

- ◆過去に発生した津波、洪水、火山災害、土砂災害等の自然災害に係る事柄(災害の様相や被害の状況など)が記載されている石碑やモニュメントです。
- ◆これら自然災害伝承碑は、当時の被災状況を伝えると同時に、被災場所に建てられていることが多く、こうした情報について地図を通じて伝えることは、地域住民による防災意識の向上に役立つものと期待されます。







111年前(明治40年7月)に大雨による 土砂災害がここで発生していたことが記載 平成30年7月豪雨で多くの 犠牲者を出した地区では、 100年以上前に起きた水害 を伝える石碑があるのは知っ ていたが、関心を持って碑文 を読んでいなかった。水害に ついて深く考えたことはな かった」。(平成30年8月17 日付け中国新聞より引用)という住民の声が聞かれる遺っ にれら自然災害伝承碑に当った。 れた過去からの貴重なメッセージが十分に活かされているとは言えません。

問い合わせ先

国土地理院 中部地方測量部 自然災害伝承碑担当

電 話:052-961-5646(直通) メール:gsi-bosai-05-cb@gxb.mlit.go.jp



ご登録頂きました自然災害伝承碑は

◆国土地理院のウェブ地図「地理院地図」などで発信させて頂きます。

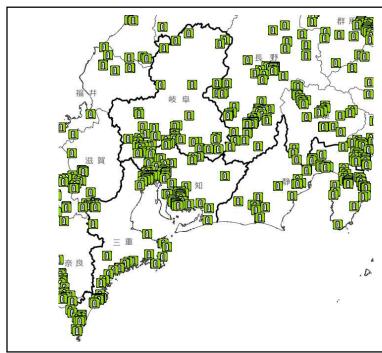


ハザードマップでの発信



地形図での情報発信





現在の登録状況

<公開数>

岐阜県:49基

静岡県:74基 愛知県:75基

三重県:79基

※令和5年5月18日時点

が地域の防災意識 向上のため、ご協力 、をお願いします。



自然災害伝承碑を地理院地図で見る